



第45回例会報告(6月4日)

【出席報告】

・会員数	54名	・出席数	31名	・欠席数	23名
・当日出席率	69.76%	・前々回修正出席率	100%	21回目	

<欠席会員>天野、檜垣(俊)、檜垣(巧)、平井、川上、近藤(浩)、松田、村上(裕)、越智(務)、竹田、渡邊(一)、吉田、吉武
 [免除会員] 青野、原(真)、原田、門田、松本、宮本、村上(敬)、野間、坂本、八木
 <5/21欠席補填>(5/18今治北)原(竜)、菅、冠、吉良、栗西、大澤
 (5/19今治南)檜垣(巧)、平井、金森、川上、竹田、渡辺(一)

幹事報告・第1回クラブ協議会開催のご案内：6月5日(金)17:30より国際ホテル2階ローズの間にて開催。19:00からは地下1階龍宮にて懇親会を開催致します。次年度理事・委員長の皆様は宜しくお願い致します。また、第2回クラブ協議会は、今治北RCより高井次期ガバナー補佐をお迎えし、7月9日(木)例会終了後開催予定となります。追ってご案内をさし上げます。
 ・その他回覧物：最終例会のご案内、他

職業奉仕委員会アワー

「眼科医からみた職業奉仕について」 高木幹男会員

私は S51 年に今治RCに入会。曾我部会長の「ロータリーに入ることはやさしいが、真のロータリアンになることは難しい。精進して下さい。」との入会時のコメントを忘れず今も真のロータリアンでありたいと心掛けている。そのロータリーの中で重要な考え方である職業奉仕とは、助け合い思いやりを実現するそれぞれの職業が天職であると思わなければならない、だからこそ職業奉仕は個人奉仕であると思っている。

▼私の最初の赴任地は野村町立病院だった。そこは秋になると黄疸がでる地域で、1～3カ月後、硝子体混濁がおこるので計画的に保健所と巡回診療をした。先天性疾患に興味があったので角膜ディストロフィー、網膜色素変性などの研究をした。▼野球・テニスなど目に当たると物が上下2つに見え出す難しい病気を労災病院で手術。成功したので学会に発表したら全国から押し掛けてきた。手術はあまり好きではなかったが医者が2名しかいなかったのやっているうちにうまく白内障も手掛けるようになった。▼片眼白内障手術は「術者の自己満足にすぎない」といわれていた頃、北海道の竹内先生の眼内レンズ(人工水晶体)の論文をみて、スウェーデン、アメリカ、オランダ等で水晶体吸引術と人工水晶体挿入術を学び高木眼科病院を開院。四国眼内レンズ講習会(学会の承認)も開いた。▼入会した今治RCの社会奉仕委員長として、盲学校に行っていない中途失明者が多くいるので録音本を作った。新聞にも出るなど大いに反響があった。▼眼科医の職業奉仕としては失明予防に限る。昔はトラコーマだったが、今はSTDや加齢黄斑変性、糖尿病などいろいろある。▼当院のシンボルマークも考えぬいて作ったのに色違いでまねている人がいる。それで視力時計の方は特許をとった。駅のホームまで100mなので割り出して作っている。



<ゲスト> 米山奨学生 張 婷 様
 <ビジター> 大阪西RC 桑森 章 様 <弁護士>

次回例会(6月11日)

【小さな奉仕賞】

<会員誕生祝> 越智 務氏(6/16)

<夫人誕生祝> 吉良 敏彦氏(6/16)

[健寿司]